

つくられることが多い、その土地によって独特な色使いの妙を楽しむことができます。

その中でも、本荘のごんまりだけは、まりの三方に優美な房が下がっていることで他のそれよりも、別格の扱いと伺いました。今年も十一月一日から四日にかけて、「全国ごんまりコンクール」が開催される予定であり、全国各地から、珠玉の逸品が集まります。

今回、ふるさと本荘で長年呼ばらしいるごんまりを創作し続け、県知事賞をはじめ各展覧会、コンクールなどで多くの受賞を果たしている、猪股悟さんごんまりづくりの醍醐味について、お話を伺いました。

猪股さんがごんまりづくりを



伝統の技「きらり」 ～本荘ごてんまり～

前回のこの欄で、東京と地方では仕事の仕方も全く異なることについて記した。ところで、どこに行こうと、全くと言つていいほど異ならないものがある。何かといえば、若い人たちの服装や話し方、すなわち彼らの文化である。今の時代、テレビはもちろん、インターネット等を通じて情報は瞬時に日本だけではなく、世界を駆けめぐる。彼らの情報の吸収力には目を見張るものがある。

るときに「先生は茶髪、山婆（やまば）に代表されるような今の文化を見てどう思うか？」と質問を受けた。瞬時考へて「自分の者えをもつてやっているのであればそれもよいのではないですか。」と答えたが、その依頼人は、不満そうであった。そのわけは「自分はあの服装には我慢ならないが、自分の考えは古いのであろうか」ということであった。その後も、しばらくはその話が続いたのであるが、最後には、私の見方も依頼者の方の見方も変わらないのでは

その人が言うには、何が我慢ならないのかと言えば、彼らはT.D.O※をわきまえず、どのような場所でもお構いなしに、そのような格好で通用すると思っているというのである。これは然りであるたとえば、人に教えを請うときに、は、それに適した服装等があるのは当然である。私は、そのようないことを踏まえて行動できることを指して「自分の考え方を持つてやつているのであれば、それもよいではないですか。」と答えたつもり

であつたのだが、答えた時点では、私の依頼者の方にとつては、私の考えは若者に甘いもしくは迎合するものとらえられたようである。

今どき、電車の中の口論が殺人事件に発展するなど、これまでで

平成14年度 親睦バスツアー『懐古浪漫あふれる箱根路』

豊かな自然に恵まれた国際的リゾート地・箱根。なかでもひときわ美しい景観の強羅温泉郷で、懐古浪漫あふれる夢旅をお楽しみください。皆様多数の参加をお待ちしております。

期　　日 平成14年9月29日(日)～30日(月)

旅　　行　先 リゾーピア箱根

集　　合　場　所 J R 新宿駅西口・安田生命ビルみずほ銀行前

集　　合　時　間 午前8時45分

お問合せ 0184-24-6222 (本荘ふるさと会事務局)

本荘市記録映画

『みらいへの継承』が完成

～水辺のまち本荘 新世紀の幕開き～

21世紀の幕が開き、新しい時代を担う子どもたちに、ふるさと本荘のすばらしさをしっかりと伝えていくため、市では、本荘市記録映画の制作を進めてまいりましたが、このたび、『みらいへの継承』と題した記録映画が完成し、広く市民に鑑賞してもらうため、ビデオ普及版を頒布することとなりました。自然豊かなふるさと本荘の中で、新しい学生生活をスタートした秋田県立大学本荘キャンパスの学生が、本荘公園の桜、紺青の日本海、秋の山焼き、裸参りなど四季折々の本荘に出会い、新しいふるさとを発見するストーリーになっております。

また、ナレーションでは、本荘市出身（獺師町出身）の父親を持つ俳優 六平直政さんの声が、より一層ふるさと本荘の情景に深みを与えております。

会員の皆様には、是非この機会にご覧ください。

□規 格 VHS 全68分
□頒布価格 1,000円(送料別)
□問合わせ 総合政策課広報広聴係
TEL 0184-24-6223

いま、日本中の話題をさらつてゐる、アゴヒゲアザラシのタマちゃん。名前の由来は、多摩川に初めてその姿を現したことからのこと。一時は、鶴見川に出没したことから地元住民は、「ツルちゃん」をエントリーしたものの、丸く愛くるしい風貌に、やつぱり「タマちゃん」ということで落ち着いたようです。

テレビ、ニュース番組などでは、連日「今日のタマちゃん」なるコーナーをつくり、家族連れはカメラと弁当持参、会社員は昼休みにタマちゃんを見に行くという熱狂ぶり。ついには、環境省、県、自治体や学識経験者から構成する「連絡会議」が発足した。さて、このタマちゃん人気で最も恩恵を受けたのは、実は、普段何気なく見ていた地域の川や橋ではなかつたかということ。タマちゃんの健康状態を心配していることは、水質の悪い川を認識し、改めて、きれいな川であつてほしいと素直に望む気持ちにはかありません。ふるさとの母なる川「子吉川」と「由利橋」。みなさんも、そんなことをふと思い出してみてください。謹言。

編集後記

平成十四年度会費（二千円）の納入について、まだ未納になつてゐる方は、最寄りの郵便局窓口にて、ご入金いただきますよう、よろしくお願ひします。

なお、過年度未納の会費につきましても、早急に手続きをお願いします。

お問い合わせ 0134-21-6222 (本社販売部) お手数ですが、ご連絡ください。

このたび、第12回目の配本となる本荘市史『年表・索引編』が刊行され、今後刊行予定の『本荘の歴史』を除いて全12巻を完結いたしました。ふるさと本荘のルーツを探る歴史書として、是非

編別(主な内容)	価額
①史料編Ⅰ上(考古・城館・編年史料)	5,800円
②史料編Ⅰ下(記録・系譜・各家文書)	6,000円
③通史編Ⅰ(原始古代～最上氏時代)	5,000円
④史料編Ⅱ(系譜・分限帳・検地帳)	品切
⑤史料編Ⅲ(藩政・城下町・村)	6,000円
⑥史料編Ⅳ(藩政後期～維新)	6,000円
⑦通史編Ⅱ(藩政時代)	6,000円
⑧史料編Ⅴ(明治期)	6,000円
⑨史料編Ⅵ(大正・昭和期)	6,000円
⑩通史編Ⅲ(近代～現代)	6,000円
⑪文化・民俗編	6,000円
⑫年表・索引編	4,000円
普及版通史『本荘の歴史』(1冊本)	刊行予定



※お問い合わせ
本荘市市史編さん室(TEL0184-24-3572)